

『よみがえらなければならぬ』(ヨハネの福音書 20 章 1-10 節)2020.4.26.
<はじめに> 奇跡は偶然の産物、例外中の例外、神様の気まぐれでしょうか。死から甦ることなどは、もはや非科学的なおとぎ話なのでしょうか。聖書は「イエスが死人の中からよみがえらなければならぬ」(9)と言います。復活は必然だと理解していますか。なぜそうだと言えますか。

I イエスが神の子であるから

①いのちの君(ヨハネ 1:1-4)

初めにことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。この方は、初めに神とともにおられた。すべてのものは、この方によって造られ…、この方によらずにできたものは一つもない。この方にはいのちがあった。このいのちは人の光であった。

②いのちの君を殺す(使徒 3:13-15)

あなたがたはこの方を引き渡し、ピラトが釈放すると決めたのに…この方を拒みました。あなたがたは、この聖なる正しい方を拒んで、人殺しの男を赦免するように要求し、いのちの君を殺したのです。⇒しかし、神はこのイエスを死者の中からよみがえらせました。

③死んだままにはされない(9「聖書」⇒詩篇 16:10)

「あなたは、私のたましいをよみに捨て置かず、あなたにある敬虔な者に滅びをお見せにならないからです。」⇒【使徒 2:24-32】神は、イエスを死の苦しみから解き放って、よみがえらせました。この方が死につながれていることなど、ありえなかったからです。

II 罪の赦しを与えるため

①イエスの自覚(マタイ 16:21)⇒【17:9、17:22-23、20:18-19、26:32】

そのときからイエスは、ご自分がエルサレムに行って、長老たち、祭司長たち、律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、3 日目によみがえらなければならぬことを、弟子たちに示し始められた。⇒【マルコ 8:31,9:9,9:31,10:33-34,14:28、ルカ 9:22,18:31-33】

②罪の贖いの代価⇒【ロマ 6:23】

人の子も…多くの人のための贖いの代価として、自分のいのちを与えるために来たのです。(マルコ 10:45)⇒【ロマ 5:8】私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死なれたことによって、神は私たちに対するご自分の愛を明らかにしておられます。

③罪の赦しの宣言として(使徒 4:30-31)

私たちの父祖の神は、あなたがたが木にかけて殺したイエスを、よみがえらせました。神は、イスラエルを悔い改めさせ、罪の赦しを与えるために、このイエスを導き手、また救い主として、ご自分の右に上げられました。⇒【使徒 13:37-39】

III 万物を従わせるため

①眠った者の初穂(I コリント 15:20-21)

しかし、今やキリストは、眠った者の初穂として死者の中からよみがえられました。死が一人の人を通して来たのですから、死者の復活も一人の人を通して来るのです。アダムにあってすべての人が死んでいるように、キリストにあってすべての人が生かされるのです。⇒【ロマ 6:23】神の賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。

②死を滅ぼし(I コリント 15:26-27)

最後の敵として滅ぼされるのは死です。「神は万物をその方の足の下に従わせた」のです。⇒【 I コリ 15:54】この朽ちるべきものが朽ちないものを着て、この死ぬべきものが死なないものを着るとき、このように記されたみことばが実現します。「死は勝利に呑み込まれた」。

③神に感謝して生きる(I コリント 15:57-58)

神は、私たちのイエス・キリストによって、私たちに勝利を与えてくださいました。ですから、私の愛する兄弟たち。堅く立って、動かされることなく、いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは、自分たちの労苦が主にあって無駄でないことを知っているのですから。

<おわりに> キリストは、聖書に書いてあるとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、また葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりに、三日目によみがえられたこと、また弟子にあらわれたことです(I コリ 15:3-5)⇒これが最も大切なこととして私も受け、伝えたことです。(H.M.)